

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」のバランスのとれた力を育成するとともに、社会の変化に向き合い、生き抜いていくために求められる力を養う。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

・学び合う子 ・助け合う子 ・鍛え合う子

【子どものスローガン】

「つよく やさしく かしい子」

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれ、児童の主体性を生かした教育活動を展開するとともに、「安心・安全に生活することのできる楽しい学校」「自分の力を発揮し互いに高め合える学校」「きまりを守りお互いを尊重し合う学校」「保護者や地域から信頼され地域とともにある学校」を目指した学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

- 心豊かでたくましく生きる児童を育成する教育活動を積極的に推進するとともに、一人一人が安心して生き生きと活動できる学校づくりに努める。
- 「宇都宮モデル」を活用した授業改善や個に応じた指導により、基礎・基本の定着を図り、主体的・対話的な学びを実践できる確かな学力の向上を目指す。
- 自他の生命を尊重し、児童一人一人が、健康で安全な学校生活を送るための判断力と行動力を育成する。
- 教職員としての使命と責務を自覚し、専門職として日々研鑽を積み、指導力及び資質の向上を図る。
- 学校、地域、家庭との連携を密にして、感染症対策を考慮しながら地域の教育資源や教育力を活用し、開かれた学校づくりを推進する。
- 校務の明確化・重点化・効率化を推進し、やりがいとチームとしての協働意識をもって勤務できる学校づくりに努める。

【古里地域学校園教育ビジョン】

夢や目標をもち、その実現に向けて、よく考え、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ① 本校の教育課程は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び同施行規則等の諸法律、小学校学習指導要領、栃木県教育委員会の指導方針、宇都宮市教育委員会の指導方針、第2次宇都宮市学校教育スタンダード、学校教育指導の重点・努力点を踏まえた教育課程を編成する。
- ② 「1学校教育目標」及び「3学校経営の方針」「5今年度の重点目標」に則り、地域や学校、児童の実態及び児童の心身の発達と特性を十分考慮して、知・徳・体の調和のとれた、心豊か

でたくましい児童の育成が図れるように「7 特色ある学校づくり等に関する取組」を組み込み充実した教育課程を編成する。

- ③ 学校行事や諸教育活動のより一層の精選を図るとともに、教育活動が創意と工夫に満ちたものになるよう教育課程を編成する。

(2) 教育課程編成上の留意点

① 学び合う子を育てるために

- ア 「宇都宮モデル」を中心とした授業展開に加え、教材や1人1台端末・AI型学習ドリル等を効果的に活用しながら基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにする。
- イ 児童が自分の思いや考えを自由に表現できる言語活動の実践化を図り、各教科等における教育活動において、主体的・対話的で深い学びにつながるような学習を推進する。
- ウ 家庭と連携して家庭学習の定着を図り、進んで学習に取り組む意欲を高める。
- エ 授業を中心として児童の問いや喜びを喚起することに努めるとともに、児童の思いに寄り添いながら、一人一人を生かす。
- オ 各教科等や教科横断的な授業の中で、SDGsの問題なども含めて、困難な課題を創意工夫しながら解決する機会を適時設けるなどして、新たな課題に取り組もうとする関心・意欲を高める。

② 助け合う子を育てるために

- ア 児童の人権感覚を磨き自己有用感や規範意識を醸成するため、児童の言動等にきめ細かく対応する。
- イ 植物の栽培等をとおして命の大切さを感じさせるとともに、自他の安全を考えた行動がとれるよう場面に応じて具体的に指導し、児童自らが危険に対する予知能力や判断力を身に付けるようにする。
- ウ グループ活動や学級全体の話合い・係活動を活性化し自立への見通しをもたせることで、互いの意見や考えを認め励まし合おうとする態度を育成し、切磋琢磨する雰囲気を醸成する。
- エ 教職員が積極的に児童理解に努め、児童がいじめを自分たちの問題としてとらえられるよう働きかけながら、目立たない児童の頑張りなどを認め褒め合う機会を充実する。
- オ 児童一人一人のよさが生きる教育活動を重視し、児童の日常生活における活躍や存在感が認められ励まされる機会を充実する。

③ 鍛え合う子を育てるために

- ア 自ら発言しようとしたり自ら人とかかわろうとしたりする態度の育成を図るよう努める。
- イ 教科体育の充実等により体力の向上を図る。
- ウ 給食指導や保健指導をとおして食の大切さについて意識を高めるとともに、感染症予防対策をとりつつ日常的な運動量を確保するため、外遊びの奨励や体育的行事の充実を図る。
- エ 感染症予防の生活様式の遂行とともに、きまりの意義を理解させ、全校体制で規範意識の徹底を図る。
- オ 自分たちの力で困難を克服する経験や考える機会などの多様な体験活動を取り入れる。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- 児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、主体的に困難に立ち向かうたくましい児童の育成
- ・保護者、地域、団体、企業との連携・協力体制を構築し、地域の教育力を生かした教育活動による人づくり
- ・校務内容の改善と遂行の効率化と勤務時間を意識した働き方の推進

(2) 学習指導

- ・「宇都宮モデル」を踏まえた基本的な学習態度の徹底及び創意工夫した家庭学習の習慣化
- 言語活動の一層の充実により対話的な活動へと発展させる協働的な態度の育成
- ・1人1台の端末を用いてICTを活用した授業の展開や地域の教育資源や教育力を有効活用した学習の定着

(3) 児童生徒指導

- 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成、思いやりの心の育成
- ・いじめ・不登校等の未然防止、早期発見及び適切な初期対応等による支援の充実
- ・一人一人の存在感を認め合える学級づくりの充実

(4) 健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

- ・年間を通しての多様な体力向上推進計画の実践
- 自他の命の大切さを考え、危険を予測し、正しく判断して行動する児童の育成
- ・望ましい食習慣の定着と健康を管理する能力の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・主体的に物や人と関わり、自ら課題を解決しようとする意欲
- ・自他の生命を尊重し、一人一人を認め合える人権感覚を身に付け、感性豊かで思いやりのある態度
- ・自ら運動に取り組み、体力向上に取組もうとする態度

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①本校のイメージキャラクター「きらりん」を活用した取り組み

- ・児童一人一人が生き生きと活動できる場の設定「きらりん運動会」「きらりんウォークラリー」
- ・児童のがんばりや善い行いを称賛・表彰「きらりん賞」
日頃から多くの教職員の目で児童の善行を見取り、称賛する。（担任と情報共有）
帰りの会で友達のよい行いを紹介する。
- ・あいさつがよくできている児童を称賛・表彰「あいさつ認定証」「あいさつ殿堂入り」

②各教科・領域等

- ◇体験活動の充実 福祉体験（アイマスク、車椅子などの各種体験）
校外学習（町探検、社会科校外学習等）

◇なかよし花壇での花栽培と教材園での野菜栽培

- ・安全教育の充実（各種避難訓練、健康教室、自転車免許事業）
- ・やりぬく心の育成と体力向上（各種検定、持久走記録会）
- ・出前授業の実施（各種出前授業、いのちの授業関係等）

③児童会・縦割り班活動

- ◇あいさつ運動（児童会による「朝のあいさつ運動」）
- ◇高学年のリーダーシップ育成と異学年の教え合い・助け合い
（縦割り班活動、縦割清掃、「きらりんウォークラリー」等）
- ◇ボランティアや交通指導員さんへの感謝の会「きらりん感謝の会」の実施
- ・児童会主催によるスポーツ大会の実施（ドッジボール大会、長なわ大会）

④家庭・地域との連携協力

- ◇幼稚園児（生活科）や高齢者（昔遊び）、地域名人（総合）との交流

◇保護者や地域ボランティアの積極的活用（図書修繕，ミシンボランティア，授業）

◇教職員やボランティアによる読み聞かせ活動

・地域人材，教育資源の活用

生き物の飼育，生き物調査（学校東側用水） 地域清掃（岡本城跡）

安全マップ作り（地域の方々との交流）

・親子ふれあい活動の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

将来の社会の姿が描きにくくなってきている時代だからこそ，自分の生き方と地域に生きる人々の幸せを結び付け，多くの人を引き付ける魅力ある地域の創造に主体的に参画できる人間を育てていくことが求められる。そのために，学校，地域，家庭，専門機関との連携を密にして，地域の教育力を活用しながら，保護者や地域から信頼される学校を目指した開かれた学校づくりを推進していかなければならない。このようにして学校教育の充実を図っていくと同時に，家庭や地域の教育力向上にも積極的に取り組んでいき，双方向による「チーム岡北」の活動を推進していく。

②主な取組

- ・学校課題や取組に関する積極的な意見交換
- ・教育活動支援部会による各種ボランティア活動の推進
- ・安全対策委員会や安全ボランティアとの連携による「安心して生活できる学校づくり」の推進
- ・地域連携係を中心とした情報の発信と収集

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

生命を尊重する心や思いやりの心など豊かな心，基礎学力の向上，健康や体力の保持増進など，たくましく生きる人間力の育成に努める。児童生徒一人一人に，将来の夢や希望をもたせるとともに，「学ぶこと」，そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ，社会的自立を目指す教育に小中が一貫して取り組む。

②主な取組

- ・家庭学習等の学校園共通の取組み
- ・学習に関する共通課題の洗い出し，向上策の検討
- ・全国学力学習状況調査，とちぎっ子学習状況調査，学習内容定着度調査の正答率向上を目指した基礎的な内容の徹底，習熟度別学習の効率化
- ・児童会並びに小中学校，地域が連携した「あいさつ運動」の実施

（３）不登校対策

①基本的考え

一人一人の児童理解を基に，児童との信頼関係を築き，日常的に関わりながら，不登校を生まない学級・学校経営に努め，各取組を組織的・計画的に推進していく。

「未然防止の取組」

「早期発見・早期対応（初期対応）」

「不登校および傾向児童・保護者への対応，支援」

②主な取組

- ・児童が自己存在感，有用感を実感できる場や，自己実現の場の設定

- ・児童が、互いに認め協力し合い、規律やルールを大切にできる学級や集団づくり
 - ・日頃の見取り、教育相談、アンケートの実施により、早期発見・早期対応
 - ・「分かる授業」の実践と個別指導の充実
 - ・「1日休んだら電話」「2日続けて休んだら家庭訪問」の実践
 - ・報告・連絡・相談を徹底。教職員で情報を共有し、「チーム学校」で組織的、継続的に対応
 - ・特別支援委員会（ケース会議）の実施と組織的な対応
 - ・スクールカウンセラーを活用した相談体制の充実と多角的・多面的な支援
- ・丁寧な保護者支援と外部機関との連携

（４）GIGAスクール構想

①基本的考え

Society5.0時代に生きる子どもたちにとって、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなり、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとなりつつある。1人1台端末環境により、能動的な学び手を育て探究的な学びを実施するとともに、ICTを活用し、子どもたちがコミュニケーションを深め、社会とつながる協働的な学びを実施していけるようにしたい。さらに、統合型校務支援システムをはじめとしたICTの導入・運用を加速していくことで、授業準備や成績処理等の負担軽減にも対応し、学校における働き方改革の推進にも役立てていきたい。

②主な取組

- ・学びの基礎スキルとして、辞書、図鑑代わりの検索サイトの活用
- ・授業等において、ワープロ、表計算、プレゼンソフトの共同編集での活用
- ・個別学習において、AI型ドリル教材、映像教材の課題（宿題）、家庭学習等での活用
- ・協働学習ソフトを活用した、児童と教師の授業実践
- ・「情報モラル教育年間指導計画」に基づいた指導の実施

（５）宇都宮学

①基本的考え

グローバル社会に主体的に向き合い、よりよい社会を創る担い手となるとともに、異なる文化を持つ人々とともにたくましい未来を生き抜く宮っ子を育むため、児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。そこで、体系的な学習を行うことを通して、宇都宮の特色や魅力に関する知識を身に付け、郷土のよさを理解し、さらに郷土の未来を考えたり魅力を表現したりできるように、資質・能力を育成するようにしたい。

②主な取組

- ・社会科と関連付けた授業を行い、「宇都宮学」に関連した施設や場所として、地域の関連施設 岡本城跡などを見学し、体験的な学習を行う。（3，4年生）
- ・「宇都宮の自然と交通」として、鬼怒川などの自然環境や生き物の生態、農産物の生産の状況や交通の状況など幅広く探求し、「宇都宮の伝統文化」として、百人一首や民話、地域に伝わる祭りや民俗芸能、郷土料理など体験を通して探究していく学習を行う。（5，6年生）
- ・他教科等との連携を図った活動の推進（総合的な学習の時間、学校行事、特別活動等）